

除排雪体制の整備及び**除排雪に関する安全対策**の専門的な知識や豊かな経験を有する者を「**克雪体制づくりアドバイザー**」として、克雪体制づくりの課題に直面している**豪雪地帯の道府県・市町村や各種団体**等に対して派遣し、適切な助言等を行います。

「克雪体制づくり」とは…

- 地域ぐるみで行う除雪作業や除雪ボランティアの受入れ等

共助による除排雪活動

- 安全対策を徹底するための講習会や注意喚起等

除雪作業の安全対策を徹底する活動

を行う体制づくりをいいます。



除雪ボランティアによる除雪活動



雪下ろし安全講習会



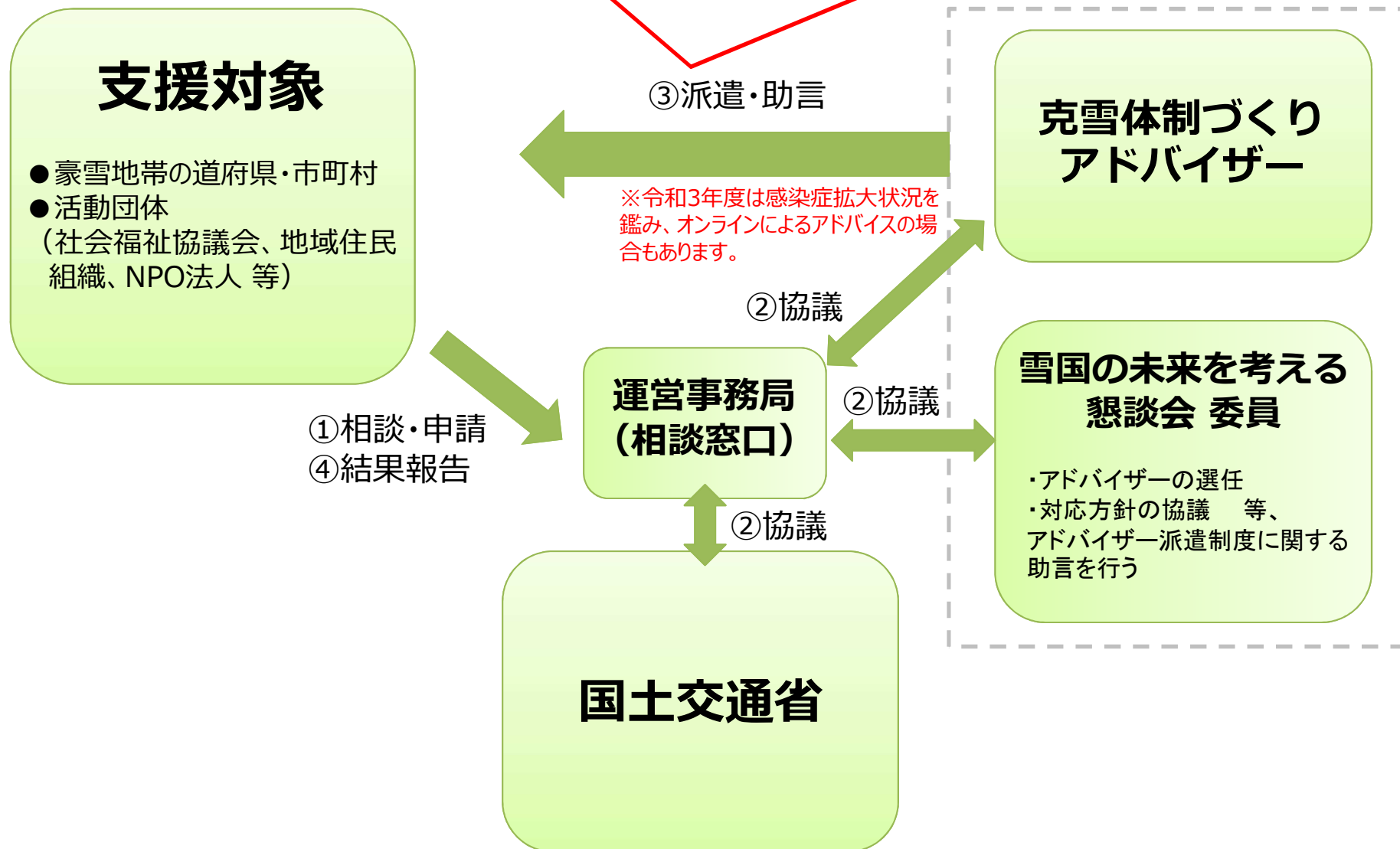
「克雪体制づくり」の課題

- 地域ぐるみの除排雪体制を構築したい、除雪ボランティアを受け入れたいけどやり方がわからない！
- 共助による除排雪体制の必要性や実践している地域の事例を地域に広めたい！
- 地域で除排雪活動を始めたけど、活動がうまく回らない…
- 除雪作業中の事故を減らしたいけど、方法がわからない…
- 除雪安全講習会を開催したいけど、ノウハウのある人材が見つからない！

アドバイザーが共助による除排雪体制づくりや除雪作業中の安全対策のノウハウなどの助言を行い、克雪体制づくりの課題解決をお手伝いします。

克雪体制づくりアドバイザー派遣制度をご活用下さい！

※派遣に要する交通費等は、予算の範囲内において、国土交通省が負担します！
(予算上限に達した場合は、支援対象の負担となります。)



申請から派遣までの手続き

相談

- ・運営事務局に電話またはメールでご相談ください。
- ・派遣に至らない相談でも受け付けていますので、お気軽にご相談ください。

協議

- ・「雪国の未来を考える懇談会（豪雪地帯対策に精通する有識者で構成される懇談会）」の委員、国土交通省、運営事務局等が対応方針を協議します。

決定

- ・派遣の可否について、運営事務局から申請者にご連絡します。
- ・相談内容に応じて、高い効果が期待できるアドバイザーを通知します。

申請

- ・「克雪体制づくりアドバイザー申請書」を運営事務局に提出いただきます。
→提出後、派遣に向けた調整を行います。

派遣

- ・アドバイザーを地域に派遣し、助言等を行います。
(令和3年度は感染症拡大状況を鑑み、オンラインによるアドバイスの場合もあります。特に、対面でのアドバイスを希望される場合は、申請団体を含む関係者間で協議の上、決定させていただきます。)

※派遣に要する交通費等は、予算の範囲内において、国土交通省が負担します！

結果報告

- ・「克雪体制づくりアドバイザー活用結果報告書」を運営事務局に提出いただきます。

※効果検証

- ・派遣による効果を検証するため、必要に応じて、「雪国の未来を考える懇談会」の委員を派遣します。

令和3年度 克雪体制づくりアドバイザー

No.	所属・役職	氏名	これまでの主な活動地域	アドバイスの分野・内容					
				人材育成	組織づくり	広域連携	安全対策	その他	
1	富山大学 地域連携推進機構 地域連携戦略室 講師 (～H30 (株) 日本能率協会総合研究所 社会政策研究部 公共政策研究チーム 主幹研究員)	塩見 一三男	全国		○	○			
2	一般社団法人北海道開発技術センター 調査研究部 主任研究員	中前 千佳	北海道			○	○	○	移住体験
3	一般社団法人北海道開発技術センター 調査研究部 研究員	小西 信義	北海道	○	○	○	○	○	CSR
4	地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 建築研究本部 企画課長	堤 拓哉	北海道				○	○	防災・避難対策、建築物の雪対策
5	防災士 (元 (福) 上富良野町社会福祉協議会 事務局長)	菊池 哲雄	北海道 上富良野町		○		○	○	地域内での各団体や企業との連携
6	苫前町まちづくり企画 代表	西 大志	北海道 苫前町		○	○		○	
7	弘前市防災マイスター連絡会 事務局長	佐藤 光麿	青森県 弘前市	○	○	○	○		
8	鶴岡市三瀬地区自治会 顧問	石塚 慶	山形県 鶴岡市		○			○	「労力交換」等、除雪と地域づくり
9	日向コミュニティ振興会 事務局長	工藤 志保	山形県 酒田市			○	○		
10	大石田町除雪ボランティアセンター 地域連携室 室長	二藤部 久三	山形県 大石田町、尾花沢市	○	○	○	○	○	屋根等の融雪装置の研究開発
11	社会福祉法人榛東村社会福祉協議会 事務局長	小野関 芳美	群馬県 榛東村		○	○			
12	Nukiito 代表/榛東村社会福祉協議会 (元 (福) 前橋市社会福祉協議会)	高山 弘毅	群馬県 榛東村		○	○			
13	社会福祉法人片品村社会福祉協議会	千明 長三	群馬県 片品村	○	○	○			
14	特定非営利活動法人中越防災フロンティア 理事(株式会社興和)	木村 浩和	新潟県	○			○		
15	公益社団法人中越防災安全推進機構 地域防災力センター コーディネーター	野村 祐太	新潟県		○		○		
16	公益社団法人中越防災安全推進機構 地域防災力センター コーディネーター	野村 卓也	新潟県		○		○		
17	鬼無里地区住民自治協議会 事務局長	吉田 廣子	長野県 長野市	○			○		
18	社会福祉法人長野市社会福祉協議会 (鬼無里地区住民自治協議会)	樋口 綾	長野県 長野市	○			○		
19	LOCALISM LAB. 代表 (元 社会福祉法人高島市社会福祉協議会 事務局長)	井岡 仁志	滋賀県 高島市	○	○	○			
20	社会福祉法人香美町社会福祉協議会	瀬戸浦 初美	兵庫県 香美町		○	○			
21	スノーレンジャー (飯南町自治振興会)	澤田 定成	島根県 飯南町		○				
22	赤名自治振興協議会	大坂 俊光	島根県 飯南町		○				
23	社会福祉法人安芸太田町社会福祉協議会 福祉推進課 課長	戸田 佑樹	広島県 安芸太田町	○	○	○			

※【人材育成】除雪作業の担い手育成・コーディネーターの養成等、【組織づくり】除雪ボランティア等による体制づくり・地域の除排雪体制の構築・除雪ボランティアセンターの運営等、【広域連携】広域からの除雪ボランティア受け入れ態勢の構築等、【その他】雪下ろしの安全対策等

氏 名	所 属
上村 靖司	長岡技術科学大学 機械創造工学専攻 教授
筒井 一伸	鳥取大学 地域学部 地域創造コース 教授
沼野 夏生	東北工業大学 名誉教授
原 文宏	一般社団法人北海道開発技術センター 理事
諸橋 和行	公益社団法人中越防災安全推進機構 地域防災力センター長

(五十音順・敬称略)

Q どのような地域や団体が支援対象ですか？

A 豪雪地帯対策措置法に基づき、豪雪地帯・特別豪雪地帯に指定されている道府県・市町村、豪雪地帯・特別豪雪地帯に指定されている道府県・市町村において克雪体制づくりを実施・支援する社会福祉協議会、町内会等の地域住民組織、NPO法人等の各種団体が対象です。

豪雪地帯・特別豪雪地帯に指定されている地域は国土交通省HPで確認できます。

https://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/chisei/crd_chisei_tk_000010.html

Q 申請者がアドバイザーに対し、旅費や謝金を支払う必要はありますか？

A 派遣に要する交通費等は、予算の範囲内において、国土交通省が負担しますが、予算上限に達した場合は、申請者の負担となります。

Q アドバイザーはどのような方が派遣されますか？

A アドバイザーは、克雪体制づくりの実践者や専門的な知識・経験を有する者を国土交通省が委嘱しており、相談内容に応じて、高い効果が期待できる者を派遣します。

Q アドバイザーを複数回派遣してもらえますか？

A 前回の派遣からステップアップした内容など、複数回の派遣で高い効果が期待できる場合は、複数回の派遣も可能です。運営事務局にご相談ください。

Q 一度に複数人のアドバイザーを派遣してもらえますか？

A 内容が多岐にわたる場合などは、一度に複数人のアドバイザーを派遣する場合があります。運営事務局にご相談ください。

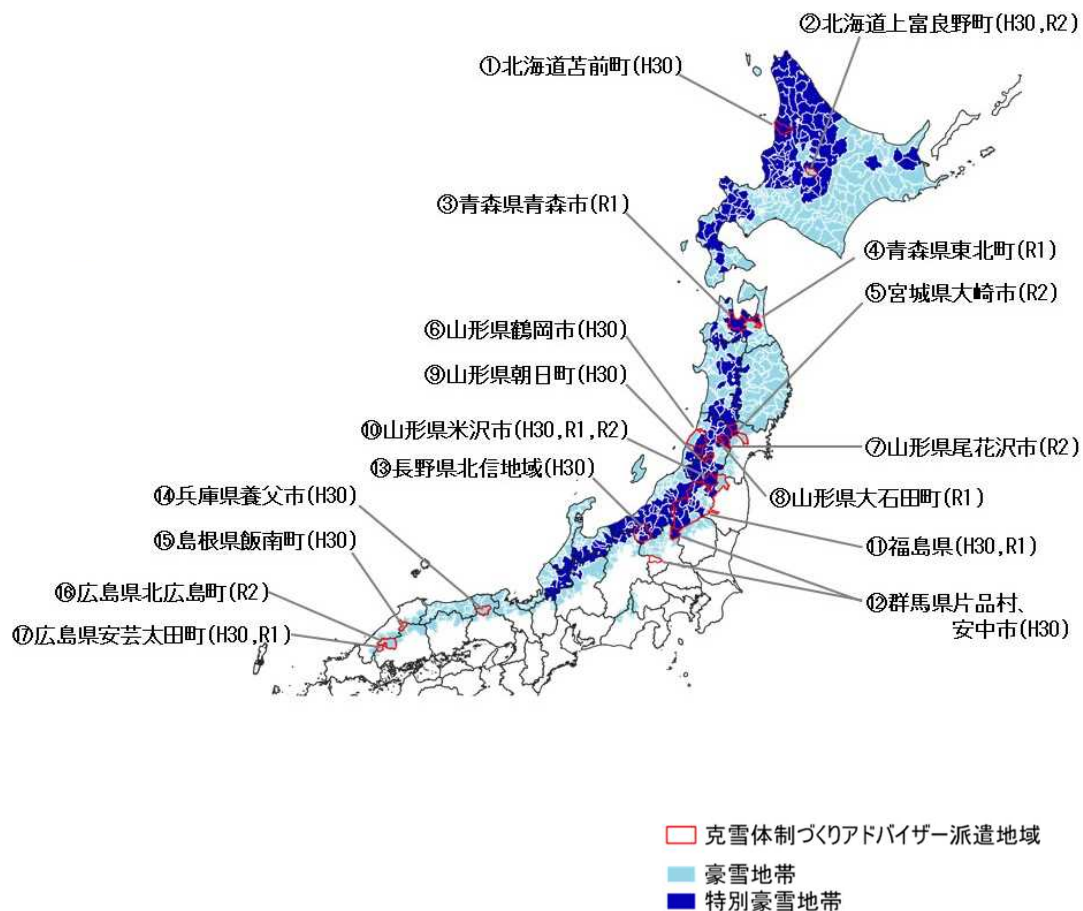
Q 普段は少ししか雪が降りませんが、アドバイザーは派遣してもらえますか？

A 豪雪地帯に指定されている地域であれば、派遣可能です。少雪の地域でも、急な大雪となる場合があるため、克雪体制づくりを進めることが重要です。克雪体制づくりアドバイザー制度をご活用ください。

Q 克雪体制づくりを進めたいが、何から始めればいいのかわからない。

A 運営事務局にご相談いただければ、相談内容によって取組の提案をさせていただきます。お気軽にご相談ください。

克雪体制づくりアドバイザー派遣地域（H30年度～ 17地域）



共助による除排雪活動の活用例 (広島県北広島町)

■課題

過疎化・高齢化により、現状の自助・共助による除雪活動が維持できなくなる懸念があり、広域的な除雪ボランティアの募集やボランティアを育成する仕組みづくりが必要。

■派遣の内容

全国の先進事例に精通している富山大学講師及び近隣の先進事例である同県安芸太田町社会福祉協議会職員を派遣し、社会福祉協議会職員に対し、共助除排雪体制づくりの取組事例を紹介し、意見交換会を実施し、意識の共有を深めた。

除雪作業中の安全対策の活用例 (北海道上富良野町)

■課題

例年実施している町内一斉除雪に先立ち、安全なボランティア活動を継続的に展開していくためには、ボランティアたちが使用する安全帯の適切な使用方法を習得する機会が必要。

■派遣の内容

同町の防災士を派遣し、町内ボランティアに対し、除雪作業中の事故原因や除雪作業に必要な準備等の講義を行うとともに、安全対策用具の必要性や使用方法について実演による講習を実施した。